

学長の業績評価について

令和元年9月10日
京都府立医科大学学長選考会議

京都府立医科大学学長業績評価規程に基づき、竹中 洋 学長の業績評価を行いましたので、その結果を公表します。

1 評価方法

学長業績評価規程第3条に基づき、①所信表明書等の達成状況、②年度計画の実施状況を確認するとともに、学長から選考時の所信についての自己評価をヒアリングにより聴取・確認を行った。

2 評価結果

所信表明の達成状況、年度計画の実施状況を確認したところ、京都府立医科大学の学長として、その職責を十分に果たし、大学運営・改革に努力し堅実に成果を挙げているものと評価できる。

(特記事項)

- ① 豊富な経験を活かして附属病院及び附属北部医療センターの経営改善に取り組むとともに、創薬センターの整備や研究開発・質管理向上統合センターの再編など研究活動の推進に努めた。
- ② 医学科カリキュラムの見直し、病院臨床実習の充実、学生評価の適正化など教育力の強化を図るとともに、国際交流事業の拡大等大学の国際化の推進に努めた。

(参考)

○ 評価のスケジュール

- | | |
|----------|--------------------------------------|
| 7月29日(月) | 評価手順の確認等
評価の公表案について |
| 9月10日(火) | 年度計画の評価状況について
学長ヒアリングの実施
評価の確定 |

○ 学長選考会議委員

- 阿曾沼 慎司 (国立大学法人京都大学理事)
高崎 秀夫 (株式会社京都銀行 代表取締役会長)
中井 敏宏 (京都府公立大学法人 理事・事務総長)
夜久 均 (京都府立医科大学 附属病院長 心臓血管外科学教授)
中川 正法 (同 副学長兼附属北部医療センター病院長 同センター教授)
八木田 和弘 (同 研究部長 統合生理学教授)